



2015年1月25日

いま起きつつあること…

知識の浅い私にとつての靖国神社とは、奉納相撲が行われる場所・A級戦犯が合祀されている場所・首相が参拝する度に波紋を起こしている場所程度の認識しかありませんでした。

第一鳥居（大鳥居）前に集

時間になつたので、大鳥居前行つてみると、小雨にもかかわらず中会関係の方が23人も集まつておりました。今回、靖国神社ツアーガイドは西川重則さんという方で御年87歳。声は少し小さいものの精力的な方です。

味が分からぬ様子でした。私自身も正中線とやらが分からぬので、調べてみると、正中線とは、神の通り道とされているそうで、正中線上で、神座と対峙できるのは神職か、玉串奉呈の時だけだそうです。拝殿横にケースがあり、「

思つてゐます。小生今までの御不孝をお許し申れ。『一死報國』以つて繕はして戴きます。母上様に対しては深甚の感謝を捧げます。敬具
昭和11年5月30日 姫野清馬
母上様
といつものが置かれていまし
た。

2014年11月2日(土)
小雨の降る中、神学・社会委員会主催の平和スタディツアーリに参加しました。今回の訪問先は靖国神社。靖国神社に足を踏み入れるのは初めての

靖国神社見学
は売られていて おずおず話
が分からなくなつてしまいま
した。

光客が写真撮影をしていると、誠心誠意奮闘する覚悟です。ガードマンが「正中線だから、軍人たる者何時身を捨つる」斜めから撮影してください」と注意しているのです。外国人観光客はポカーンとして、意苦労は、身に沁みて有難いと

初めての靖国神社

平和アスターに参加してみませんか？

合だったのですが、少し早く着いてしまったので、ちょっとでも知識を高めようと散歩をしていると、外苑休憩所があり土産物が置いてあります

合祀されている大村益次郎銅像の横を通り、いよいよ第二鳥居へ。その横には大きな灯籠があり、向かって右側には海軍の、左には陸軍の功績を

書きがあり、今日の遺書が置かれていました。この日置かれていたのは、姫野清馬さんのものでした。少し長くなりますが全文を紹介します。

「このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい」（ルカによる福音書21章28節）



2015年1月25日

いま起きつつあること…

何か違和感を覚えながらも、軍犬慰靈像・戦没馬慰靈像など見て回りました。西川さんは一般人が訪れないような、靖国神社の隅から隅まで案内してくださいました。解説をしてくださいました。

何かモヤモヤとした違和感が取れないまま昼食の時間になり、晋ちゃんグッズが売られている外苑休憩所にて名物、靖国蕎麦（850円-）を食べました。

午後は、遊就館という展示施設を見学する」とになっていました。実は、このツアーに参加した私が、一番訪れたい場所こそが遊就館でした。ここに行けば、靖国神社とは何か？ そして、私の抱いている違和感も解決されるのではないかと感じていたのです。

遊就館見学

団体割引で遊就館に入ると零式艦上戦闘機やC56型31号

機関車が展示されている玄関ホールを抜け二階へ。展示室は全部で19あり、思ったよりも見応えがあります。

展示室1は「武人のこころ」という部屋で、元帥刀を中心と/or>に著名な和歌が展示されており、先人たちがいかにしてこの国を守ろうとしてきたのかが紹介されました。

この第1展示室から始まり、日本の武の歴史・明治維新・西南戦争・靖国神社の創祀・

日清戦争・日露戦争パノラマ館・日露戦争から満州事変・招魂斎庭・支那事変・大東亜戦争1・大東亜戦争2・大東亜戦争3・大東亜戦争4・大東亜戦争5・靖国の大神々・靖国の大神々2・靖国の大神々3・靖国の大神々4と、それぞれの展示室を見学し、最後に大展示室に。

ここには、人間魚雷「回天」・ロケット特攻機「桜花」・艦上爆撃機「彗星」が展示されています。

靖国神社を見学して感じた」と

遊就館を見学し思つた」と、

それは〈過去の侵略戦争を正当化する〉という「コンセプトのもとに作られたのだと思われました。侵略戦争を美化し、国のために戦わせて戦死させた人々を「英靈」として崇め奉る。このことのために靖国神社は存在するのだと思いました。

この侵略戦争で亡くなつたのは何も靖国に「英靈」として祀られている人たちだけではありません。日本軍の侵略によって亡くなつた他の国の方々は、靖国に祀られている人たちよりもはるかにたくさんいたでしよう。しかし、そのように他国に計りしれない惨禍をもたらしたことにはお構いなしに、ひたすら「戦死者」たちを「日本を守った英靈」として崇め奉っています。

侵略戦争をしかけ、「お国」

のためにと戦死させた人たちを、日本を守った人たちとい換えて、侵略戦争を正当化しようとしているのが、はつきりと分かります。

どのような旗を掲げた戦争であつても、認められるべきではありません。そこには、侵す者と侵される者がいるのですから、変な理屈をつけて戦争を正当化してはいけません。

不思議なことに、外苑売店で大々的に売られていた安倍首相関連のお菓子は、憲法9条改定、集団的自衛権行使という、戦争へのお膳立てをしているのではないかと思われる安倍首相への靖国神社側からのエールとしてしか受け取れません。

私が靖国神社に対してもう一つ違和感とは、侵略戦争を美化し、侵略戦争は正しいものなのだと発信し続けている姿

（希望が丘教会・田名網仁）